

# 高大接続における特別選抜の意義と課題

— 広義の育成型入試に焦点を当てて —

日時／2019年9月19日(木)  
13:00～17:00(開場12:30)

場所／一橋大学一橋講堂(定員500名)  
(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階)  
<https://www.hit-u.ac.jp/hall/file/accesspdfjp.pdf>

## ■ プログラム

**開会挨拶** 山本 廣基 (大学入試センター 理事長)

**基調講演** 川嶋 太津夫 (大阪大学高等教育・入試研究開発センター長)  
「大学のミッションとアドミッション  
～入学者選抜と大学教育の在り方を考える～」

**報告1** 渡邊 正人 (聖学院大学基礎総合教育部長)  
「可能性を支える教育を目指して」

**報告2** 志村 知美 (追手門学院大学教務部アサーティブ課長)  
「教育改革につなげる入試改革と高大接続  
～アサーティブプログラム・アサーティブ入試～」

**報告3** 美濃地 裕子 (島根大学教育・学生支援機構大学教育センター准教授)  
「地域貢献人材育成入試の可能性  
～出願前・入試・入学後の状況から～」

**指定討論** 石崎 規生 (東京都立世田谷泉高等学校統括校長)

**全体討論** 川嶋 太津夫・渡邊 正人・志村 知美・美濃地 裕子・石崎 規生  
司会／山地 弘起 (大学入試センター 試験・研究副統括官)  
桜井 裕仁 (大学入試センター 研究開発部教授)

**閉会挨拶** 大津 起夫 (大学入試センター 試験・研究統括官)

総合司会

桜井 裕仁 (大学入試センター 研究開発部教授)

## ■ 参加申込

大学入試センターのホームページより、  
お申し込みください。



満席となり次第、  
受付終了とさせていただきます。  
また、申込者多数の場合には、  
機関ごとに人数制限をさせて  
頂く場合があります。

お 問 合 せ

kenkyushien@cen.dnc.ac.jp  
TEL. 03-5478-1216

近年、大学入学者選抜において多面的・総合的評価をどのように行うかが大きな課題となっており、各大学でさまざまに工夫がなされている。そうしたなかで、本シンポジウムでは、広い意味で「育成型」と呼ばれる入試形態に焦点を当てる。育成型は、AO入試等の特別選抜で実施されている形態であるが、入学後の学習への準備状態や適性をみるだけでなく、学習への意識づけや動機づけなども意図している点に特徴がある。加えて、入学者の特性に応じて学内の教育体制やカリキュラムを調整する大学もあり、こうした試みは高大接続改革の具体事例として大きな意義をもつものと考えられる。そこで本シンポジウムでは、広い意味での育成型入試を行ってきた聖学院大学、追手門学院大学、島根大学の事例に学び、今後の高大接続のあるべき姿をさらに追求できればと願っている。

## ■ 登壇者プロフィール



### 川嶋 太津夫 (かわしま・たつお)

大阪大学高等教育・入試研究開発センター長。名古屋大学教育学部助手、神戸大学大学教育研究センター助教授、同大学大学教育推進機構教授・大学院国際協力研究科教授を経て、2013年から大阪大学教授、2019年4月から大阪大学特任教授。他に、大学改革支援・学位授与機構研究開発部客員教授、同機構大学機関別認証評価委員会委員、国立大学協会入試委員会専門委員、中央教育審議会大学分科会専門委員（認証評価機関の認証に関する審査委員会）等。専門分野は比較高等教育論。著書に『初年次教育：歴史・理論・実践と世界的動向』、『大学改革の現在』、『大学のカリキュラム改革』、『進化する初年次教育』、『学習成果ハンドブック』、『50年目の「大学解体」 20年後の大学再生：高等教育政策をめぐる知の貧困を超えて』、『長期学外学修のデザインと実践：学生をアクティブにする』（いずれも共著）。



### 渡邊 正人 (わたなべ・まさと)

聖学院大学基礎総合教育部教授。二松学舎大学大学院博士課程後期単位取得退学後、女子聖学院短期大学から聖学院大学。専門は古代文学。広報部長・教務部長を経て、現在は基礎総合教育部長、学長補佐として初年次教育と全学の教育改革を担当する。



### 志村 知美 (しむら・ともみ)

追手門学院大学 教務部アサーティブ課課長、アサーティブ研究センター研究員、アサーティブオフィサー。名城大学大学院 大学・学校づくり研究科 大学・学校づくり専攻で学び、修士（教育経営）を取得。アサーティブプログラム・アサーティブ入試の開発から実践まで携わる。この取り組みを普及・発展させるために、高校生向けのアサーティブ講演会（内容：自分と向き合う・自分を知る・自分らしく生きる・自分のモノサシを持つなど）にも積極的に取り組んでいる。



### 美濃地 裕子 (みのじ・ゆうこ)

島根大学教育・学生支援機構大学教育センター准教授。島根県立高等学校教諭、島根県教育庁総務課企画員、島根県教育センター指導主事を経て2013年4月より現職。島根大学教育・学生支援機構では、高大接続に係る企画や実施に関する事、入学者選抜方法等の企画や改善方策に関する事などを担当。2016年度入試から導入した島根大学独自の「地域貢献人材育成入試」及び「地域貢献人材育成入試面談会」を担当。



### 石崎 規生 (いしざき・のりお)

東京都立世田谷泉高等学校統括校長。都立中高一貫教育校2校の副校長を務め、東京都立総合工科高等学校校長、千代田区立九段中等教育学校統括校長を経て現職。全国高等学校長協会大学入試対策委員長。「大学入学選抜の改善に関する協議」協力者、「大学入試英語4技能評価ワーキンググループ」委員、「電子調査書等ワーキンググループ」委員、国立大学法人評価委員会国立大学法人分科会臨時委員の他、大学認証評価にも携わっている。